

科目名	ショッププロデュースⅠ				
担当教員	金川 愁		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1. ショップのレイアウト店舗デザインの基礎知識 2. ショップ企画書を作成 3. ショップ企画書を基にショップ制作を行う				
学習目標 (到達目標)	店舗デザイン・レイアウトの基礎知識を学び、店舗運営に役立てる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	講義 授業の目的・課題説明 店舗レイアウトの基礎知識講義。課題①ショップのレイアウト企画		講義導入と成績評価・前期就学ポイントについて		
2	講義 レイアウトでのポイント 発注用紙作成説明。宿題予算3000円		講義 レイアウトについて模型発注用紙記入		
3	講義 滞在時間を増やす工夫		講義 SHOPのレイアウトについて滞在時間を増やすレイアウトとは		
4	講義 入りづらい店とは？お客様の目で見ても目立つ場所は？		講義 入店しやすい店・しにくい店		
5	SHOP 企画書作成		SHOP 企画書の作成 注意事項。のりはさみ・ボンドなど準備		
6	講義 入店客数を増やすのに役立つことは？入りづらい店とは？		講義 入店数を増やす仕組み		
7	講義 遠くのお客様の目を引くには？お客様の興味を引くディスプレイとは？		講義 目をひくディスプレイやサイン看板について		
8	SHOP 企画書作成		SHOP 企画書の作成 ボードにレイアウトを作成		
9	SHOP 企画書作成		SHOP 企画書の作成 什器など作成		
10	講義 1目でお客をひきつけるディスプレイとは？つい手にとってしまいたくなる魅せ方とは？		講義 ひきつけるディスプレイの効果		
11	講義 何を一番に売りたいのかを知らせるには？レイアウトとは		講義 販売したいものの見せ方。レイアウトについて		
12	SHOP 企画書作成 完成		SHOP 企画書完成		
13	SHOP 模型製作1		企画書を基にした模型の製作1		
14	SHOP 模型製作2		企画書を基にした模型の製作2		
15	SHOP 模型製作3		企画書を基にした模型の製作3		
16	SHOP 模型製作4		企画書を基にした模型の製作4		
17	SHOP 模型製作5		企画書を基にした模型の製作5		
18	SHOP 模型製作6		企画書を基にした模型の製作6		
19	プレゼンテーション		SHOPプレゼンテーション		
20	展示準備・展示		展示		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10%			課題評価とプレゼンテーションでの評価		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

科目名		ショッププロデュースⅠ				
担当教員		金川 愁		実務授業の有無	○	
対象学科		ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態		対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方		1. ショップのレイアウト店舗デザインの基礎知識 2. ショップ企画書を作成 3. ショップ企画書を基にショップ制作を行う				
学習目標 (到達目標)		店舗デザイン・レイアウトの基礎知識を学び、店舗運営に役立てる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		なし				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	講義 売上促進の要点について 沢山商品をみてもらうには			講義 SHOPの売り上げをあげるレイアウト関連講義		
2	講義 選びやすく買いやすいレイアウト			講義 SHOPの売り上げをあげるレイアウト関連講義		
3	講義 商品のイメージを伝える			講義 SHOPの売り上げをあげるレイアウト関連講義		
4	SHOP企画チーム分け2～3チーム			前期の企画書を基に2～3チームに分ける。課題内容の説明。実物のショップを企画		
5	SHOP制作1			実物ショップ制作買い出し		
6	SHOP制作2			実物ショップ制作		
7	SHOP制作3			実物ショップ制作		
8	SHOP制作4			実物ショップ制作		
9	SHOP制作5			実物ショップ制作		
10	SHOP制作6			実物ショップ制作		
11	SHOP作りについて講演会(外部講師)			外部講師を呼んでの売場作りについて		
12	SHOP制作7			実物ショップ制作		
13	SHOP制作8			実物ショップ制作		
14	SHOP制作9			実物ショップ制作		
15	SHOP制作10			実物ショップ制作		
16	展示準備・展示			展示準備と展示		
17	プレゼンテーション審査会 総評			プレゼンテーション審査会 人気投票		
18	ショップリサーチ			万代エリアのショップをリサーチ		
19	プレゼンテーションまとめ					
20	撤収作業			撤収作業		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
実技課題90％、学習意欲10％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				課題評価とプレゼンテーションでの評価		
実務経験教員の経歴		セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅰ				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定Ⅰの知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動、商品素材知識、VMDの理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定3級合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売3 / ファッション販売能力検定試験問題集 3 級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ファッション販売知識①、②		教科書 p8～p11 過去問題演習		
2	ファッション販売知識③		教科書 p12～p14 過去問題演習		
3	ファッション販売知識④、⑤		教科書 p15～p16 過去問題演習		
4	ファッション販売知識⑥		教科書 p17～p18 過去問題演習		
5	ファッション販売技術①		教科書 p20～p31 過去問題演習		
6	ファッション販売技術②		教科書 p32～p33 過去問題演習		
7	ファッション販売技術③		教科書 p34～p36 過去問題演習		
8	ファッション販売技術④		教科書 p37～p40 過去問題演習		
9	ファッション販売技術⑤		教科書 p41～p43 過去問題演習		
10	ファッション販売技術⑥		教科書 p44～p45 過去問題演習		
11	マーケティング①		教科書 p174～p181 過去問題演習		
12	マーケティング②		教科書 p182～p186 過去問題演習		
13	マーケティング②		教科書 p186～p191 過去問題演習		
14	マーケティング③		教科書 p192～p197 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	前期試験		前期試験		
20	前期試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価 1 0 0 % 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)と する。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅰ				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定Ⅰの知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動、商品素材知識、VMDの理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定3級合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売3 / ファッション販売能力検定試験問題集 3 級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	商品知識①		教科書 p 46～p 75 過去問題演習		
2	商品知識②		教科書 p 76～p 81 過去問題演習		
3	商品知識③		教科書 p 82～p 93 過去問題演習		
4	商品知識④		教科書 p 94～p 101 過去問題演習		
5	商品知識⑤		教科書 p 102～p 105 過去問題演習		
6	商品知識⑥		教科書 p 106～p 117 過去問題演習		
7	商品知識⑦、⑧		教科書 p 118～p 135 過去問題演習		
8	商品知識⑨、⑩、⑪		教科書 p 136～p 151 過去問題演習		
9	売り場づくり①		教科書 p 152～p 159 過去問題演習		
10	売り場づくり②		教科書 p 160～p 167 過去問題演習		
11	売り場づくり③		教科書 p 168～p 173 過去問題演習		
12	販売スタッフの業務①、②		教科書 p 198～p 204 過去問題演習		
13	販売スタッフの業務③、④		教科書 p 205～p 209 過去問題演習		
14	販売スタッフの業務⑤		教科書 p 210～p 213 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	後期試験		後期試験		
20	試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価 1 0 0 % 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

科目名	イラストレーター				
担当教員	大倉 敦志		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科 ニットデザイン科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.イラストレーターの操作方法の習得				
学習目標 (到達目標)	イラストレーターの基本的な操作方法を学ぶ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Adobe IllastraterCC、IllastraterCCクイックマスター☒				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	インストール		インストール作業		
2	インストール		インストール作業		
3	基本操作について		テキストP8～P14		
4	アートワークの表示とプリント		テキストP15～27		
5	オブジェクトの基本操作		テキストP28～35		
6	オブジェクトの基本操作		実習：オブジェクトの作成とコピー・ペースト		
7	カラー設定について		テキストP50～57		
8	クリッピングマスク・文字ツールについて		テキストP61～71		
9	課題演習		名刺のデザイン		
10	課題演習		名刺のデザイン		
11	ペンツールについて		テキストP72～82		
12	オブジェクトの応用操作と線ツールの使い方		テキストP84～97		
13	カラー設定の応用操作		テキストP108～113		
14	カラー設定の応用操作		テキストP114～123		
15	レイヤーの操作方法／文字編集の応用		テキストP122～130		
16	レイヤーの操作方法／文字編集の応用		テキストP131～139		
17	パスの応用操作について		テキストP140～147		
18	パスの応用操作について		テキストP148～154		
19	課題演習		オリジナルデザインのポスター制作		
20	課題演習		提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
名刺データ課題50％・ポスターデータ課題50％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題は全て提出すること パソコン・テキストを必ず準備すること		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでボタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	イラストレーター				
担当教員	大倉 敦志		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科 ニットデザイン科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.イラストレーターの応用操作方法の習得				
学習目標 (到達目標)	イラストレーターの応用操作方法を学ぶ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Adobe IllastraterCC、IllastraterCCクイックマスター☒				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	イラストレーション：シンボル		シンボル利用のイラスト：P156・7		
2	イラストレーション：シンボル		シンボル利用のイラスト：P158～160		
3	イラストレーション：シンボル		シンボル利用のイラスト：P161～163		
4	イラストレーション：グラデーション		グラデーションイラスト：P164～167		
5	イラストレーション：トレース		画像トレース：P168～173		
6	トレース演習		下絵をとりこみトレース提出		
7	ロゴデザイン：マーク		ロゴマークサンプル：P174～179		
8	ロゴデザイン：タイプグラフィ		漢字タイプグラフィ：P180～185		
9	ロゴデザイン：アピアランス		アピアランスロゴ：P186～189		
10	オリジナルロゴ		自分の名前をロゴデザインに落とし込む		
11	名刺デザイン		テキストP212～217		
12	名刺デザイン実習		前期で制作した名刺をリデザイン		
13	写真を使用したDM作成		テキストP218～223		
14	DM実習		写真を使用し与えられたテーマのDM作成		
15	見開きパンフレットのデザイン		テキストP224～227		
16	見開きパンフレットのデザイン		テキストP228～231		
17	パンフレット実習		写真を使用し与えられたテーマのパンフレット作成		
18	パンフレット実習		写真を使用し与えられたテーマのパンフレット作成		
19	自由課題		オリジナルの名刺・DM・パンフレットを制作		
20	自由課題		提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
自由課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題は全て提出すること パソコン・テキストを必ず準備すること		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	ファッションマーケティング				
担当教員	清野 祐子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 ファッションプロデュース科、 ファッションスタイリスト科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	4 0 時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. マーケティングの基本的な知識の習得 2. ブランド企画書を作成 3. 販売経路や差別化を知る				
学習目標 (到達目標)	ファッション産業においての必要とされる専門用語、流通の仕組み知識を幅広く学び、ファッション販売検定の取得、業界の全体像をつかむ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション		マーケティング授業の方針やルールなど		
2	INTRODUCTION 自己紹介 マーケティングとは考え方 進め方		マーケティングの基本的な考え方		
3	戦略と戦術 STP		戦略と戦術について		
4	STPパワポ使い方		パワーポイントの使い方		
5	ポジショニング課題		ポジショニングとは講義		
6	ポジショニング課題		ポジショニングとは講義		
7	ポジショニングプレゼン		ポジショニング課題のプレゼンテーション		
8	4 Pについて		4 Pについて		
9	4 Pについて		4 Pについて		
10	ブランドアイデンティティ		ブランドアイデンティティについて		
11	ファッションテイスト		ファッションのテイストについて		
12	企画書作成 コンセプト ネーミング		ブランド企画書作成		
13	企画書作成 コンセプト ネーミング		ブランド企画書作成		
14	企画書作成 ポジショニング		ブランド企画書作成		
15	企画書作成 スタイルマップ		ブランド企画書作成		
16	企画書作成 囲い込み		ブランド企画書作成		
17	企画書作成 差別化		ブランド企画書作成		
18	企画書作成 ニーズとウォンツ		ブランド企画書作成		
19	企画書作成 囲い込み		ブランド企画書作成		
20	企画書作成 囲い込み		ブランド企画書作成		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題9 0 %、学習意欲10%			課題評価とプレゼンテーションでの評価		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	外資系ハイブランドの販売、店舗マネジメント、新人研修、ロールプレイング指導などを約14年行う				

科目名		ファッションマーケティング				
担当教員		清野 祐子		実務授業の有無	○	
対象学科		ファッションビジネス科、 ファッションプロデュース科、 ファッションスタイリスト科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択		必修	単位数	2	時間数	4 0 時間
授業形態		対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方		1. マーケティングの基本的な知識の習得 2. ブランド企画書を作成 3. 販売経路や差別化を知る				
学習目標 (到達目標)		ファッション産業においての必要とされる専門用語、流通の仕組み知識を幅広く学び、ファッション販売検定の取得、業界の全体像をつかむ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		なし				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	企画書作成 4P			企画書作成		
2	企画書作成 4 P			企画書作成		
3	企画書作成 顧客の囲いこみ			企画書作成		
4	企画書作成 顧客の囲いこみ			企画書作成		
5	企画書作成			企画書作成		
6	企画書作成			企画書作成		
7	企画書作成			企画書作成		
8	企画書作成			企画書作成		
9	企画書作成			企画書作成		
10	企画書作成			企画書作成		
11	企画書作成			企画書作成		
12	企画書作成			企画書作成		
13	企画書作成			企画書作成		
14	企画書作成			企画書作成		
15	企画書作成			企画書作成		
16	企画書作成			企画書作成		
17	企画書作成			企画書作成		
18	プレゼンテーション審査			プレゼンテーション審査		
19	プレゼンテーション審査			プレゼンテーション審査		
20	プレゼンテーション審査			プレゼンテーション審査		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
実技課題9 0 %、学習意欲10%				課題評価とプレゼンテーションでの評価		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		外資系ハイブランドの販売、店舗マネジメント、新人研修、ロールプレイング指導などを約14年行う				

科目名	色彩学				
担当教員	河田 愛		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ニットデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	色彩検定3級・パーソナルカラー検定モジュール1の検定取得を目指し、色彩に関する知識を習得する。演習でのワークシート作成で、色を見分ける力を養う。				
学習目標 (到達目標)	色彩検定3級合格・パーソナルカラーモジュール1合格を目指す。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	色彩検定3級編テキスト・パーソナル検定テキスト・パーソナルカラー配色ワークブック・配色カード・パーソナルカラー配色カード・模擬問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1年間で色彩学を学ぶ内容を説明。自分の好きな色・嫌いな色を考える		演習 配色ワークブックP3.4 色相環・好きな色・配色と嫌いな色・配色を作成する。		
2	色の分類・無彩色・有彩色・色の三属性について（色相・明度・彩度）についての理解		テキストP24～P27・P30・P31		
3	PCCSについての色の三属性（色相・明度・彩度）についての理解 心理四原色・24色相について		テキストP31～P35		
4	PCCSについての色の三属性（色相・明度・彩度）についての理解 トーン表について。トーンの種類の方法を覚える。		テキストP31～P35・小テスト24色相		
5	光と色について 光のエネルギー・電磁波の模式図の解説・太陽とスペクトル・プリズム分光の説明		テキストP6～P8・小テストトーン表		
6	反射・吸収・透過・屈折・干渉・回折・散乱の解説		テキストP9～P12		
7	眼の仕組み。視細胞照明の見え方		テキストP13・P15		
8	照明と色の見え方		テキストP16・P17		
9	混色について解説 加法混色・減法混色		テキストP18～P23		
10	清色・等色相面・色立体・JISについて解説		テキストP28～P29・P33～P35・P40～P41		
11	色の視覚効果・対比とは（色相对比・明度対比・彩度対比・補色対比・縁辺対比）		テキストP48～P51		
12	補色対比・縁辺対比		テキストP52～P53 ワークシート		
13	色の視覚効果・同化とは（色相同化・明度同化・彩度同化）		テキストP54～P57		
14	色彩調和・色相を手掛かりとした配色（同一・隣接・類似）		テキストP62～P69		
15	色彩調和・色相を手掛かりとした配色（中差・対照・補色）		テキストP70～P75		
16	色彩調和・トーンを手掛かりとした配色		テキストP76～P81		
17	セパレーション・アクセント・グラデーション		テキストP82～P87		
18	色彩心理・色の心理的效果について・色の知覚的效果について		テキストP42～P47		
19	色彩心理・色の心理的效果について・色の知覚的效果について		テキストP58～P61		
20	復習・まとめ		前期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60％、ワークシート30％、学習意欲10％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			色彩学で学んだことをしっかりと認識して検定に臨むこと。全体の80％以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。ワークシートに不備がある場合再提出とする。		
実務経験教員の経歴	色彩検定1級とモジュール2を取得、ヘアメイク実務歴13年				

科目名	色彩学				
担当教員	河田 愛		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ニットデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	色彩検定3級・パーソナルカラー検定モジュール1の検定取得を目指し、色彩に関する知識を習得する。演習でのワークシート作成で、色を見分ける力を養う。				
学習目標 (到達目標)	色彩検定3級合格・パーソナルカラーモジュール1合格を目指す。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	色彩検定3級編テキスト・パーソナル検定テキスト・パーソナルカラー配色ワークブック・配色カード・パーソナルカラー配色カード・模擬問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	色彩効果・色彩と構成について		テキストP90～93		
2	色彩と生活・生活環境と色彩・ファッションとは・ファッションと色彩		テキストP94～P105		
3	インテリア・インテリアと色彩・インテリアのカラーコーディネート		テキストP106～P111		
4	検定対策		模擬問題テスト・解説		
5	検定対策		模擬問題テスト・解説		
6	検定対策		模擬問題テスト・解説		
7	検定対策		模擬問題テスト・解説		
8	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
9	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
10	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
11	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
12	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
13	パーソナルカラードレープ実習①		実習 ドレープで肌色診断		
14	パーソナルカラードレープ実習②		実習 ドレープで肌色診断		
15	パーソナルカラードレープ実習③		実習 ドレープで肌色診断		
16	配色①(2級テキスト) ナチュラル・コンプレックス・トーンオントーン・トーンイントーン・ドミナント(カラー・トーン)		演習 ワークシートでにて配色を理解		
17	配色①(2級テキスト) ナチュラル・コンプレックス・トーンオントーン・トーンイントーン・ドミナント(カラー・トーン)		演習 ワークシートでにて配色を理解		
18	配色①(2級テキスト) トーナル配色・ビコロール・ロリコロール		演習 ワークシートでにて配色を理解		
19	配色①(2級テキスト) トーナル配色・ビコロール・ロリコロール		演習 ワークシートでにて配色を理解		
20	まとめ		後期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験40%、レポート25%、実技試験25%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			色彩学で学んだことをしっかりと認識して検定に臨むこと。全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。ワークシートに不備がある場合再提出とする。		
実務経験教員の経歴	色彩検定1級とモジュール2を取得、ヘアメイク実務歴13年				

科目名	パソコン実習				
担当教員	河内 美佐子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科 ブライダルコスチュームデザイン科、 ニットデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.テキストを使用した講義 2.パソコンを使用した演習 3.過去問題の実施				
学習目標 (到達目標)	ワード検定3級取得を目指す				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	パソコン・Wordクイックマスター基本編・Word過去問題試験問題集3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ワードの基本		起動から終了までP2～P19 演習P20		
2	編集の基本操作		新規文書の作成から文字入力P22～40		
3	編集の基本操作		P41～51 演習P52		
4	文書の編集①		書式設定～・網掛けP54～60		
5	文書の編集②		P61～83 演習P84		
6	文書の印刷設定①		改ページから印刷の実行P86～97 演習P98		
7	文書の作成②		あいさつ文からビジネス文書の作成P100～110		
8	文書の作成③		P111～121		
9	文書の作成④		P122～131 演習P132		
10	表の作成①		作成から装飾P134～145		
11	表の作成②		P146～165 演習P166		
12	図形や画像①		ワードアートからアイコンの挿入P168～179		
13	図形や画像②		P180～190		
14	図形や画像③		P191～201 演習P202		
15	総合学習問題		テキストP204～208		
16	検定対策		過去模擬問題①		
17	検定対策		過去模擬問題②		
18	検定対策		過去模擬問題③		
19	検定対策		過去模擬問題④		
20	検定対策		過去模擬問題⑤		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内テスト評価100％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テキスト・問題集・パソコンは必ず持参すること		
実務経験教員の経歴	サーティファイ Word,Excel検定対策授業を9年経験				

科目名	パソコン実習				
担当教員	河内 美佐子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科 ブライダルコスチュームデザイン科、 ニットデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.テキストを使用した講義 2.パソコンを使用した演習 3.過去問題の実施				
学習目標 (到達目標)	エクセル検定3級取得を目指す				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	パソコン・Excelクイックマスター基本編・Exceld過去問題試験問題集3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	エクセルの基本		起動から終了P2～20 演習P21, 22		
2	データの編集		新規ブックから保存P24～54		
3	データの編集		演習P55, 56		
4	表の編集		罫線から行・列の挿入P58～82		
5	表の編集		演習P83, 84		
6	ブックの印刷		表示モードから印刷範囲P86～100 演習P101, 102		
7	グラフと図形		グラフと図形の作成P104～138		
8	グラフと図形		演習P139、140		
9	ブックの利用と管理		ワークシートの管理、ウィンドウの操作P142～P153		
10	ブックの利用と管理		演習P154, 155		
11	関数		統計から日付P158～188		
12	関数		演習P189、190		
13	データベース機能		リスト作成からテーブル機能P192～210		
14	データベース機能		演習P211, 212		
15	総合学習問題		テキストP214～217		
16	検定対策		過去模擬問題①		
17	検定対策		過去模擬問題②		
18	検定対策		過去模擬問題③		
19	検定対策		過去模擬問題④		
20	検定対策		過去模擬問題⑤		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内テスト評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テキスト・問題集・パソコンは必ず持参すること		
実務経験教員の経歴	サーティファイ Word,Excel検定対策授業を9年経験				

科目名	ファッション史				
担当教員	服部 円		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ファッションの流行の変遷だけでなく、社会情勢や習慣の変化、価値観の変化も含めて学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	ファッションスタイルの歴史を学ぶことで、デザインのルーツや知識を習得する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書 ストリートスタイル				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ファッション史 導入		授業の取り組み方について		
2	バロック時代		ドレス、時代について 画像、映画参照		
3	ロココ時代①		ドレス、時代について 画像、CM、映画参照		
4	ロココ時代②～マリーアントワネットの生き方～		ドキュメンタリー参照		
5	新古典主義		ドレス、時代について 画像、映画参照		
6	レポートの書き方について～テーマ選び～		課題説名		
7	レポート発表		グループ毎にプレゼン		
8	1900年代までのドレスまとめ		ドレス、時代についての総まとめ		
9	1910年 女性ファッションと文化		女性ファッションと時代について、価値観の変化 画像、映画参照		
10	1920年 女性ファッションと文化		女性ファッションと時代について、価値観の変化 画像、映画参照		
11	1940年代のファッションと文化		戦争中のファッションについて		
12	1940年代のファッションと文化		戦争中のファッションについて		
13	1950年代のファッションと文化		戦後のファッション		
14	1950年代のファッションと文化		戦後のファッション		
15	まとめ小テスト		小テストにて評価		
16	パンクムーブメント		パンクの歴史		
17	80年代ブランドブーム		80年代のブランドについて		
18	90年代バブルファッションについて		90年代のバブルファッション		
19	デニムの歴史		デニムの歴史について		
20	前期試験対策		前期試験範囲の説明・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題 レポート10%、試験 90% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ファッション史を通して、デザインの意味、ルーツ、知識を習得し、デザインする上でのインスパイヤーとなったり、表現の幅を広げるものとする。		
実務経験教員の経歴	外資系ショップで4年間FAを経験、接客及び店舗運営に携わる				

科目名	ファッション史				
担当教員	服部 円		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ファッションの流行の変遷だけでなく、社会情勢や習慣の変化、価値観の変化も含めて学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	ファッションスタイルの歴史を学ぶことで、デザインのルーツや知識を習得する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書 ストリートスタイル				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1930年～1940年 女姓ファッションと文化		ファッション、文化 画像映画参照		
2	1950年 女性ファッションと文化、デザイナーについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
3	1960年 ファッションと文化 デザイナーについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
4	1970～1980年 ファッションと文化 デザイナーについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
5	1990年 ファッションと文化、レポートについて		ファッション、文化について、課題について		
6	ジーンズの歴史		ジーンズのルーツ、日本のジーンズとの関わり		
7	ヒップホップのファッション歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
8	モッズファッションの歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
9	サイケデリックファッションの歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
10	ギャルファッションについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
11	海外ファッションの移り変わりまとめ		ファッション、文化について 画像、映画参照		
12	ココシャネル映画 歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
13	イブサンローラン映画 歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
14	マリーアントワネット映画 歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
15	まとめレポート感想		まとめレポート作成		
16	グランジファッション		ファッション、文化について 画像、映画参照		
17	メイクの歴史		ファッション、文化について 画像、映画参照		
18	コレクションの歴史		ファッション、文化について 画像、映画参照		
19	コレクションの歴史		ファッション、文化について 画像、映画参照		
20	後期試験解説		後期試験範囲の説明・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題 レポート10%、試験 90% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ファッション史を通して、デザインの意味、ルーツ、知識を習得し、デザインする上でのインスパイヤーとなったり、表現の幅を広げるものとする。		
実務経験教員の経歴	外資系ショップで4年間FAを経験、接客及び店舗運営に携わる				

科目名	コーディネートⅠ				
担当教員	金川 愁		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 ファッションプロデュース科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	コーディネート の基礎的な部分を学ぶ授業。自分、他人のコーディネート を分析し理解を深める。 トレンド、ＴＰＯ、各テイストについての知識を習得し、それぞれのカテゴリーに落とし込んだコーデ ィネートを作ることができる。また、コーディネート を多く作り、他者のイメージに合わせたコーディネート を作れるようになる人材を育成。				
学習目標 （到達目標）	トレンド・体系別・カラー・テイストを理解したコーディネート提案ができる。実際に組み合わせを理解企 画し実際にコーディネートを作成する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業ルール・導入		授業ルール配布。		
2	テイスト講義		テイスト講義		
3	テイストスタイリング着せ付け、撮影		テイスト作成、撮影		
4	カラーコーディネート 講義、企画作成		カラーコーディネートについて 講義、企画指示		
5	トレンドとは？ 講義		トレンドについてのプリント配布、講義。		
6	2020S/Sトレンドカラー・ジュマッブチーム作成・調べ方レクチャー ファッション生活2つの側面		チーム分けしてSSトレンド情報収集方法をレクチャーし カラー・ジュマッブ作成。		
7	2020S/Sトレンドカラー・ジュマッブチーム作成		チームごとでカラー・ジュマッブ作成実施。		
8	ファッションとライフスタイルとは？について		ファッションとライフスタイルの関係についてのプリント 配布。		
9	コーディネートの基本 （A・Y・Iライン講義）		各シルエットについて例題作成。		
10	A・Y・Iライン 実制作、撮影		コーディネートを作成し、写真を撮影しワークシート作 成。作成後提出。		
11	A・Y・Iライン ワークシート作成		写真取り込み、ワークシート作成。作成後提出。		
12	TPO講義		TPOについての講義。フォーマル、カジュアルについて		
13	TPOスタイリング プランニング作成		TPOスタイリングのプランニング作成		
14	TPOスタイリング 着せ付け、撮影		TPOスタイリングをトルソーに着せ付け写真撮影。		
15	TPOスタイリング ワークシート完成		TPOスタイリングをPCにてワークシート作成。		
16	チーム別2019年AWトレンドキーワード調査		チーム分けをしてAWトレンド調査実施。		
17	チーム別2019年AWトレンドキーワード調査 マップ作成		チーム分けをしてAWトレンド継続調査。 キーワードをマップにして作成。		
18	チーム別2019年AWトレンドキーワードマップ プレゼン		キーワードマップ作成、プレゼン実施		
19	前期まとめ（バランスコーデ、TPO）		前期のまとめテスト実施。		
20	前期まとめ（自分のコーディネート分析）		自分のコーディネート分析シート作成。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出 100％ 点数基準 課題：授業意欲＝80：20 企画書、ワークシート、プレゼンの内容で点数の増減（±5点）あり 成績評価基準 A(100～80) B(79～70) C(69～60) D(59～0)			A4ファイル、ノート（ルーズリーフでも可）用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。		
実務経験教員の経歴	セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	コーディネートⅠ				
担当教員	金川 愁		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 ファッションプロデュース科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	コーディネート基礎的な部分を学ぶ授業。自分、他人のコーディネートを分析し理解を深める。 カラー、素材、体型カバーについての知識を習得し、それぞれのカテゴリーに落とし込んだコーディネートを作ることができる。ブランドイメージに合ったコーディネートを作り企業の即戦力になれる人材を育成する。				
学習目標 （到達目標）	トレンド・体系別・カラー・テイストを理解したコーディネート提案ができる。実際に組み合わせを理解企画し実際にコーディネートを作成する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	キレイめとカジュアルについて 講義		キレイめとカジュアルについてのプリント配布		
2	テイスト講義 プランニングシート作成		テイストについてのプリント配布。プランニングシートをPCで作成。		
3	テイストスタイリング着せ付け 撮影		テイストスタイリング着せ付け実施。カメラで撮影後、PC取り込みワークシート作成。		
4	カラー、トーン別スタイリング 講義		カラー、トーン別スタイリングについてのプリント配布し講義。		
5	カラー、トーン別スタイリング プランニング、コラージュマップ作成		カラー、トーン別スタイリングについてプランニング、コラージュマップ作成		
6	カラー、トーン別スタイリング 着せ付け、撮影		カラー、トーン別でスタイリングを組んで着せ付け。カメラで撮影後PC取り込みシート作成。		
7	素材別スタイリング 講義		素材別のスタイリングについて講義		
8	素材別スタイリング プランニング、コラージュマップ作成		素材別のスタイリングのプランニング、コラージュマップ作成。		
9	素材別スタイリング 撮影、ワークシート作成		素材別のスタイリング撮影、ワークシート作成。		
10	体型カバー 講義		体型カバーについてのプリント配布。		
11	体型カバー 撮影		体型カバーの実制作とカメラで撮影。		
12	体型カバー ワークシート作成		写真のPC取り込みとワークシートを作成。		
13	トレンド講義		トレンドについてのプリント配布、講義		
14	トレンドコーディネート プランニング		トレンドを踏まえたコーディネートのプランニング。2体以上のコーディネート案策定。		
15	トレンドコーディネート 作成、撮影		トレンドコーディネート作成 2体以上のコーディネート、小物類までトレンドを含める。		
16	トレンドコーディネート ワークシート作成		トレンドコーディネートのワークシート作成。		
17	修了課題 企画作成		1年間のまとめとして今まで学んだことを活かして企画作成。シルエット、テイスト、カラー、TPOを加味		
18	修了課題 買い出し		企画に沿ったアイテム探し、買い出し		
19	修了課題 撮影		修了課題 撮影		
20	修了課題 発表		修了課題 発表		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出 100% 点数基準 課題：授業意欲＝80：20 企画書、ワークシート、プレゼンの内容で点数の増減（±5点）あり 成績評価基準 A(100～80) B(79～70) C(69～60) D(59～0)			A4ファイル、ノート（ルーズリーフでも可）用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。		
実務経験教員の経歴	セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

科目名	ロールプレイングⅠ				
担当教員	岡崎 直樹		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	F A（ファッションアドバイザー）として接客、応対の基本を学ぶ。 またアプローチからクロージングまでの流れを知り、基本的な接客ができるようになる。				
学習目標 (到達目標)	ウォッチング、アプローチ、ヒアリング、クロージングまでの流れを知る事ができる。 基本の接客、応対ができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	自己紹介		講師自己紹介と生徒自己紹介。		
2	接客マインドについて		販売員の魅力や目指す姿についてのディスカッション。		
3	サービスとマナーについて		サービス、マナーを明確に差別化してお客様目線を学ぶ講義。		
4	おもてなし 基本マナーを身に付けよう		基本マナーを身に着けるための具体的な方法を考える講義。		
5	敬語 言葉遣い		敬語について学び、授業内小テストを行う。		
6	ノンバーバルコミュニケーション		言葉以外のコミュニケーションを講義で学ぶ。		
7	ウォッチング1		ウォッチングの重要性説明		
8	ウォッチング2		ウォッチング ロープレ実践		
9	ウォッチング3		ウォッチング ロープレ実践 反復練習		
10	接客用語1		接客用語について講義で学ぶ。		
11	接客用語2		接客用語実践。		
12	迎え入れ1		迎え入れの重要性についての講義。		
13	迎え入れ2		迎え入れのロールプレイング実践。		
14	パーソナルスペースについて1		パーソナルスペースについて講義、実践		
15	パーソナルスペースについて2		パーソナルスペースのロープレ実施、フィードバック。		
16	アプローチ1		アプローチについて講義		
17	アプローチ2		アプローチ1で学んだ事をロールプレイングで実践する。		
18	アプローチ3		ロールプレイング実施。フィードバック。		
19	商品説明2		商品説明のテクニックを講義で学ぶ。		
20	商品説明3		1階模擬店舗から選んだ商品の商品説明を考え、プレゼンテーションする。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出100% 点数の増減（±5点）あり ロールプレイング大会の成績加点(+10点あり) 成績評価基準 A(100～80) B(79～70) C(69～60) D(59～0)			実践授業後はフィードバックを行う為、ノートを必ず用意する事。		
実務経験教員の経歴	セレクトショップにてFAを7年経験し、衣類から雑貨まで幅広く店舗に関わる業務に携わる。				

科目名	ロールプレイングⅠ				
担当教員	岡崎 直樹		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	F A（ファッショアドバイザー）として接客、応対の基本を学ぶ。 またアプローチからクロージングまでの流れを知り、基本的な接客ができるようになる。				
学習目標 (到達目標)	ウォッチング、アプローチ、ヒアリング、クロージングまでの流れを知る事ができる。 基本の接客、応対ができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	試着 1		試着に関する手順とコツを講義で学ぶ。		
2	試着 2		ロールプレイングで実践。		
3	クロージングについて		クロージングについて講義。		
4	クロージングについて 2		クロージングのバリエーションやお見送りまでの流れ。		
5	クロージングについて 3		ロールプレイングで実践。		
6	レジ対応について		レジ対応に関する手順を講義で学ぶ。		
7	レジ対応について 2		レジ対応時の豆知識、袋への入れ方、包み方。		
8	レジ対応について 3		ロールプレイングで実践。		
9	ローブレ大会に向けて		ロールプレイング大会の概要と審査項目の理解。		
10	ローブレ大会に向けて		ロールプレイング大会に向けての練習。		
11	OGOB交流		卒業生を招き、ロールプレイングの授業の活かし方について話を聞いたり質疑応答を行う。		
12	ローブレ大会に向けて 2		ロールプレイング大会へ向けての練習。		
13	ローブレ大会に向けて 3		ロールプレイング大会へ向けての練習。		
14	ローブレ大会に向けて 4		ロールプレイング大会へ向けての練習。		
15	ローブレ大会に向けて 5		ロールプレイング大会へ向けての練習。		
16	ローブレ大会に向けて 6		ロールプレイング大会へ向けての練習。		
17	ローブレ大会に向けて 7		ロールプレイング大会へ向けての練習。		
18	ローブレ大会に向けて 8		ロールプレイング大会へ向けての練習。		
19	ローブレ大会に向けて 9		ロールプレイング大会へ向けての練習。		
20	ローブレ大会に向けて 1 0		ロールプレイング大会へ向けての練習。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出100% 点数の増減（± 5 点）あり ロールプレイング大会の成績加点(+10点あり) 成績評価基準 A(100～80) B(79～70) C(69～60) D(59～0)			実践授業後はフィードバックを行う為、ノートを必ず用意する事。		
実務経験教員の経歴	セレクトショップにてFAを7年経験し、衣類から雑貨まで幅広く店舗に関わる業務に携わる。				

科目名	VMD I				
担当教員	金川 愁		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	商品のディスプレイを実際に学び、什器の名称、並べ方や陳列方法を学ぶ商品をより魅力的に見せる見せ方を学んでいく。実際の什器を用いて実習を行いレイアウト、使用方法等を学ぶ。				
学習目標 （到達目標）	基本陳列、什器の種類の理解。商品ケア方法の習得。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	よくわかる色とディスプレイ（教材）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動機付け、VMDとは？VMDの3要素について。		授業ルール配布、VMDの3要素についてプリント配布、講義。		
2	陳列方法講義、実践		陳列のルールプリント配布、講義、実践。		
3	6構成（講義→リサーチ→レポート）、三角構成、VPPPIP店舗レポート		よくわかる色とディスプレイ（62P～69P）		
4	商品分類について 講義 （グルーピング、ゾーニング、ディスプレイ）		6構成についてのワークシート配布。ショップリサーチ実施、レポート作成		
5	売場環境について（レイアウト、各スペースなど）講義、実践		商品分類講義		
6	三角構成 [プランニング]		売場環境についてショップにて講義、実践		
7	三角構成 [実制作]		三角構成プランニング用ワークシート配布		
8	三角構成 [撮影]		PCを使用して三角構成の制作。		
9	三角構成 [発表、まとめ]		制作後撮影実施。プレゼン		
10	Tシャツを使って思わず欲しくなるようなディスプレイ[プランニング、シート作製] 1		先週作成した作品の発表とまとめプリント配布。		
11	Tシャツを使って思わず欲しくなるようなディスプレイ[プランニング、シート作製] 2		ディスプレイプランのワークシート配布。		
12	Tシャツディスプレイ[プレゼン]		ディスプレイプランのワークシート配布。シート作成		
13	Tシャツディスプレイ[プレゼン]		ディスプレイ企画 プレゼン		
14	Tシャツディスプレイ[実制作、撮影]		ディスプレイ企画 プレゼン		
15	万代リサーチ		ワークシート制作、撮影		
16	万代リサーチ		万代リサーチ実施。その後レポート提出。		
17	店舗運営について講義。FB 2 から引継ぎ。		万代リサーチ実施。その後レポート提出。		
18	まとめ、季節ごとのVMDイベント		店舗運営についての講義。2年生よりSHOP内容引継ぎ。		
19	まとめ、テスト実施		まとめのプリント配布。季節によるVMDイベントの解説		
20	テスト解説		まとめのプリントからテスト実施。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出 100% 点数基準 課題：授業意欲＝80：20 企画書、ワークシート、プレゼンの内容で点数の増減（±5点）あり 成績評価基準 A(100～80) B(79～70) C(69～60) D(59～0)			A4ファイル、ノート（ルーズリーフでも可）用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。		
実務経験教員の経歴	セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

科目名		VMD I				
担当教員		金川 愁		実務授業の有無	○	
対象学科		ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択		必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態		対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方		「見やすい、選びやすい、買いやすい」売り場の作成を実習で行い学んでいく。 商品自体を魅力的に見せるために商品ケアや着せ付け方を学んで店舗運営につなげていく授業。				
学習目標 (到達目標)		基本陳列、什器の種類の理解。商品ケア方法の習得。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		よくわかる色とディスプレイ (教材)				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	ハロウィンディスプレイ[プランニング]			ハロウィンに向けたディスプレイプランをチームで企画し パワーポイントで作成。		
2	ハロウィンディスプレイプラン プレゼン、修正			企画のプレゼンを実施し採用企画を修正。		
3	ハロウィンディスプレイプラン 買い出し 実制作			採用企画を買い出し班と準備班に分けて実制作に移る。		
4	ディスプレイルームへハロウィンディスプレイ作成。			ディスプレイルームへディスプレイ展示。		
5	X'masディスプレイ プランニング			X'masのディスプレイプランをチームで企画しパワーポイ ントで作成。		
6	X'masディスプレイ プレゼン、修正			企画のプレゼンを実施し採用企画を決めて修正を実施。		
7	X'masディスプレイ 買い出し			買い出し実施。		
8	X'masディスプレイ 買い出し、実制作			買い出し班と準備班に分かれて実制作へ移る。		
9	VMDにおける色の重要性とは？ 実践			色の重要性についてワークシート作成、撮影。		
10	VMDにおける色の重要性とは？ 講義			色の重要性について講義、ワークシート配布		
11	リサーチ実践			ショップリサーチを行いトレンド、ポイントの調査		
12	アイテムケアについて 1			衣類などのケア方法、洗濯について講義。		
13	アイテムケアについて 2			革物のケアについて講義、実践。		
14	ネクタイの結び方 講義、実践			ネクタイの結び方の種類、テクニック講義、実践		
15	バイイングに向けた準備、講義。			バイイングについての講義。		
16	1年間のまとめ、1年次最終課題制作。			1年間のまとめプリント配布。1年間で学んだことを活か してテーマを決めて課題制作実施。		
17	課題制作 (プレゼン実施)			課題制作。プレゼン実施。		
18	課題制作 (プレゼン実施)			課題制作。プレゼン実施。		
19	課題制作 実制作、買い出し			課題制作。買い出し実施、実制作		
20	課題制作 撮影、ディスプレイ			課題制作。撮影、ディスプレイ作成。		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
課題提出 100％ 点数基準 課題：授業意欲＝80：20 企画書、ワークシート、プレゼンの内容で点数の増減（±5点）あり 成績評価基準 A(100～80) B(79～70) C(69～60) D(59～0)				A4ファイル、ノート（ルーズリーフでも可）用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。		
実務経験教員の経歴		セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

科目名	WEBショップ				
担当教員	大倉 敦志		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 ファッションプロデュース科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	MAKESHOPというWEBサイトを使用し実際にNETSHOPを企画、立ち上げる。 またWEB上のメリット、デメリットを理解しより良いNETSHOPがどのようなサイトなのかを考え、学んでいく授業。				
学習目標 (到達目標)	WEBSHOPの開設 ネットショッピングの基本的な知識からお店のプランニング、実際に開店するまでの事を学び、合わせてPCスキルの基礎までを学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	開店講座				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業ルール、意識付け、導入 WEBと実店舗のメリット、デメリット		授業ルール配布。WEBと実店舗のメリットデメリットについてのプリント配布。		
2	様々なWEBサイトのページ比較 ワークシート実施		ワークシートを配布し各WEBSHOPについてのワークシート作成。		
3	好きなブランドのWEBサイトの良い点を画像を入れてワークシート作成		好きなブランドのWEBサイトを2つピックアップし、画像を挿入してワークシート作成。		
4	ショップコンセプト作成1		コンセプトについて講義。有名ブランドのコンセプトなどを紹介。		
5	ショップコンセプト作成2		ショップコンセプトシート配布。コンセプト、キャッチコピー、ターゲット、プライスレンジなどの設定		
6	ショップコンセプト作成3		ショップコンセプトシート、企画書作成。		
7	ログイン		MAKESHOPログインを実施。		
8	ショップ名を付ける		ショップ名作成にあたってショップ名の由来などをワークシートを使用して作成。		
9	ショップ制作開始、ログイン(P17～)		ショップ制作開始 開店講座P17～		
10	取り扱い商品策定		取り扱い商品の策定		
11	取り扱い商品画像収集		取り扱い商品の画像をPCにて収集		
12	会社基本情報		会社基本情報19、20P		
13	ドメインとは		ドメインとはについて講義		
14	お問い合わせ		お問い合わせ21、22P		
15	会社紹介		会社紹介の設定 24P		
16	タグ、品番とは		タグ、品番について講義		
17	利用案内について		利用案内について講義		
18	トップ画像 収集		PCにてトップ画像のイメージ探し		
19	トップ画像 収集		PCにてトップ画像のイメージ探し		
20	トップ画像制作		トップ画像制作		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出 100% 点数基準 課題：授業意欲＝80：20 企画書、ワークシートの取組意欲、WEBSHOPの出来栄で点数の増減（±5点）あり 成績評価基準 A(100～80) B(79～70) C(69～60) D(59～0)			PC、ノート（ルーズリーフでも可）用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名		WEBショップ				
担当教員		大倉 敦志		実務授業の有無	○	
対象学科		ファッションビジネス科、 ファッションプロデュース科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択		必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態		対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方		自分のNETSHOPを立ち上げる。アイテムの載せ方、写真の撮り方、商品登録、WEBサイトのデザインなど、総合的に学ぶ授業。卒業後に即NETSHOPを立ち上げることができるように学んでいく。				
学習目標 (到達目標)		WEBSHOPの解説 ネットショッピングの基本的な知識からお店のプランニング、実際に開店するまでの事を学び、合わせてPCスキルの基礎までを学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		開店講座				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	セールの効果について			セールについての講義。		
2	カテゴリーの設定			カテゴリーの設定		
3	商品画像収集			取り扱い商品の画像をインターネットで収集		
4	商品画像収集			取り扱い商品の画像をPCにて入れ込みショップへ。		
5	商品登録1			アプリケーションを使用して商品の登録をする。		
6	商品登録2			アプリケーションを使用して商品の登録をする。		
7	ショップロゴ、ヘッダー、バナーについて			ショップロゴ、ヘッダー、バナーについて 32,33P		
8	ショップロゴ作成2			ショップロゴをPCにて作成。		
9	ヘッダー作成			ヘッダーをPCにて作成。		
10	バナー作成			バナーをPCにて作成。		
11	デザインテンプレート、カテゴリー画面デザイン作成			テンプレート作成、カテゴリー画面のデザインをPCにて作成。		
12	デザインテンプレート、カテゴリー画面デザイン作成			テンプレート作成、カテゴリー画面のデザインをPCにて作成。		
13	WEBショップ最終チェック			自身のWEBショップの最終チェック。		
14	WEBショップ 完成 プレゼン。			自身のWEBショップの仕上げ。完成 プレゼン実施。		
15	WEBショップ プレゼン。			自身のWEBショップのプレゼン実施。		
16	SEO対策とは SEOキーワード帳制作			SEO対策とは？(P7) 講義 キーワード帳作成		
17	SEOキーワード帳制作			キーワード帳作成		
18	テスト注文 実施			テスト注文 実施 52,53P		
19	発送処理について			発送処理や梱包について 54,55P		
20	SNSについて まとめ			SNSについての講義 1年間のまとめ		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲＝80：20 企画書、ワークシートの取組意欲、WEBSHOPの出来栄等で点数の増減（±5点）あり 成績評価基準 A(100～80) B(79～70) C(69～60) D(59～0)				PC、ノート（ルーズリーフでも可）用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。		
実務経験教員の経歴		県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	就職実務Ⅰ				
担当教員	渡邊 津多子		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションデザイン科、 ニットデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、就職の基本的なマナーを学ぶ 2、企業研究の方法を知る 3、自己研究を深め面接に活かす				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	意識づけ、働くとは。		なぜ働くのか？パワーポイントでアルバイトやフリーターの違いや働く意義について		
2	ライフデザインナビ入力		ライフナビ入力を携帯で入力し、後日データでフィードバック		
3	企業が求めている人材とは。		アパレル業界企業が求めている人材について資料に基づき解説		
4	就職のしけジュールや企業研究方法		就職のスケジュールを解説。学生時代に何を取り組めば良いのなどを解説		
5	効果的な自己PRの方法		プレゼンテーション面接でのコツ		
6	就職マナー指導研修 挨拶・電話・言葉使い		挨拶・マナー・言葉使い指導		
7	履歴書を書いてみよう。注意点を説明（宿題）プリント配布		履歴書の書き方、評価のポイントなどについて指導		
8	自己分析PRを考える。効果的な自己プレゼンテーション		自己PRを考える。過去の自分の振り返り		
9	アパレル業界の仕組み職業理解を深める		アパレル業界の職種について解説		
10	企業研究の方法・手段について		企業研究の方法や手段について学ぶ		
11	エントリーシート対策		複雑化するエントリーシートを実際に記入してみる		
12	インターンシップ・就職研修のいろいろ		インターンシップのマナー・就職研修について解説		
13	企業へのアポイントの取り方（訪問の方法）		企業様への訪問のマナーやルール		
14	企業へのアポイントの方法（電話・メールでのマナー）		企業様への電話やメールでの問い合わせ方法を学ぶ		
15	自己分析PRを考える。		自己PR文章制作		
16	自己分析PRを考える。		自己PR文章制作		
17	実践行動学 1 第4章		実践行動学をつかった意識付け授業第4章を行う		
18	実践行動学 1 第5章		実践行動学をつかった意識付け授業第5章を行う		
19	スーツ着こなし講座（男女別）		リクルースタイルの着こなしについて		
20	人事講演会		大手アパレル人事担当者の特別講演会		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
面接評価・履歴書や自己PR文章での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴		教員18年			

科目名	就職実務Ⅰ				
担当教員	渡邊 津多子		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションデザイン科、 ニットデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、就職の基本的なマナーを学ぶ 2、企業研究の方法を知る 3、自己研究を深め面接に活かす				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	就職活動の手段・方法についてPCでエントリーしてみる。活動の心構え		エントリーとは		
2	コミュニケーション検定対策1		コミュニケーション検定対策授業		
3	コミュニケーション検定対策2		コミュニケーション検定対策授業		
4	コミュニケーション検定対策3		コミュニケーション検定対策授業		
5	コミュニケーション検定対策4		コミュニケーション検定対策授業		
6	コミュニケーション検定対策5		コミュニケーション検定対策授業		
7	コミュニケーション検定対策6		コミュニケーション検定対策授業		
8	コミュニケーション検定対策7		コミュニケーション検定対策授業		
9	コミュニケーション検定対策8		コミュニケーション検定対策授業		
10	コミュニケーション検定対策9		コミュニケーション検定対策授業		
11	コミュニケーション検定対策10		コミュニケーション検定対策授業		
12	合同企業ガイダンスについて		合同企業ガイダンスについて解説		
13	OBOG訪問について		OBOG訪問でのマナー		
14	グループディスカッション対策		グループディスカッション対策		
15	女子メイク講座① 男子面接練習①		女子リクルートメイク講座・男子面接練習		
16	女子メイク講座② 男子面接練習②		女子リクルートメイク講座・男子面接練習		
17	内定者からの話		先輩の内定者座談会を開催。就職での苦労点など		
18	就職研修宿泊予定		就職のための合宿予定		
19	求職登録面接		学内面接会開催		
20	就職実務・保護者との3者面談情報の共有について		3者面談での企業研究の方法		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
面接評価・履歴書や自己PR文章での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴		教員18年			

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	異文化研究				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ニットデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.海外研修旅行の準備を通じ国際的感覚の育成 2.海外ファッション、アパレルの知識の習得 3.輸入、関税の仕組み、留学に対する知識の習得				
学習目標 (到達目標)	研修旅行の準備を通じ、海外旅行に必要なプロセスの習得及び、国際感覚を身につけることが目標				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アメリカ・ロサンゼルスについて①		スライド資料で都市の見所講義		
2	アメリカ・ロサンゼルスについて②		スライド資料で都市の研修内容講義		
3	韓国・ソウルについて①		スライド資料で都市の見所講義		
4	韓国・ソウルについて②		スライド資料で都市の研修内容講義		
5	イタリア・ローマについて		スライド資料で都市の研修内容講義		
6	イタリア・フィレンツェについて①		スライド資料で都市の見所講義		
7	イタリア・フィレンツェについて②		スライド資料で都市の研修内容講義		
8	イタリア・フィレンツェについて③		スライド資料で都市の研修内容講義		
9	イタリア・ミラノについて		スライド資料で都市の研修内容講義		
10	アメリカブランドの歴史		アメリカを代表するブランド講義		
11	イタリアブランドの歴史		イタリアを代表するブランド講義		
12	フランスブランドの歴史		フランスを代表するブランド講義		
13	フランス・パリについて①		スライド資料で都市の見所講義		
14	フランス・パリについて②		スライド資料で都市の研修内容講義		
15	アメリカの歴史・治安		スライド資料で国の歴史・お国柄講義		
16	韓国の歴史・治安		スライド資料で国の歴史・お国柄講義		
17	イタリアの歴史・治安		スライド資料で国の歴史・お国柄講義		
18	フランスの歴史・治安		スライド資料で国の歴史・お国柄講義		
19	コース選択とりまとめ		コース選択集計		
20	パリコースとりまとめ		パリコース希望者レポート提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：参加申込書 授業態度：1 0 0 % 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			各国、各都市の特徴、歴史をよく理解し、意欲的な姿勢で 授業に臨むこと		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

科目名	異文化研究				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ニットデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.海外研修旅行の準備を通じ国際的感覚の育成 2.海外ファッション、アパレルの知識の習得 3.輸入、関税の仕組み、留学に対する知識の習得				
学習目標 (到達目標)	研修旅行の準備を通じ、海外旅行に必要なプロセスの習得及び、国際感覚を身につけることが目標				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パスポートについて		パスポート取得方法の講義・パスポートの重要性講義		
2	クレジットカードについて		アメリカESTAの講義・クレジットカードの役割について		
3	ロサンゼルス研修企業について①		研修先企業研究講義①		
4	ロサンゼルス研修企業について②		研修先企業研究講義②		
5	ヨーロッパ研修企業について①		研修先企業研究講義①		
6	ヨーロッパ研修企業について②		研修先企業研究講義②		
7	保険・準備物について①		海外旅行保険・レンタル品等の説明		
8	保険・準備物について②		保険・レンタル品申込み集計		
9	オプションツアーについて①		ツアー内容紹介		
10	オプションツアーについて②		ツアー決定・集金・とりまとめ		
11	お金について①		両替・為替の説明・講義		
12	お金について①		両替・為替の説明・講義		
13	防犯について①		治安と荷物管理・服装・行動について講義		
14	防犯について②		服装・荷物の確認・チェック		
15	防犯について③		過去の事例紹介		
16	研修中注意事項①		海外でのマナー・ルールについてチェックリストで講義		
17	研修中注意事項②		海外でのマナー・ルールについてチェックリストで講義		
18	出発前の最終注意事項		チェックリストの配布・機内持ち込みの説明		
19	研修期間①		海外研修期間		
20	研修期間②		レポート提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：研修後レポート 授業態度：研修後レポート 80％ 授業態度(研修態度) 20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			セキュリティや治安をよく理解し、協力的な団体活動を行 うこと 研修先では前向きで意欲的に学ぶこと		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				